

ハッピー*エンド計画

もしものとき笑顔でいられるために。



【リビング・ウィル】

終末期医療・ケアに ついての 生前の意思表示



須高地域医療福祉推進協議会(須坂市・小布施町・高山村)

〒382-0091 須坂市大字須坂1391番地(須高医師会館内)

須坂市 健康福祉部 健康づくり課地域医療福祉ネットワーク推進室

電話 026-242-2101 FAX 026-242-2101

生前の意思表示をしましょう。

これまで、多くの方は最期の瞬間(とき)にどうしてほしいのか希望を残してありませんでした。そのため、特に終末期の治療方針について、家族や医療従事者は判断に困り苦悩する場合がしばしばありました。

もし、あなたが意識もなくなり、人工呼吸器無しでは呼吸も出来ない状態に陥ったとしたら、どうでしょうか。できる限りの治療によっても、病状が良くなる見込みがなく、近い将来に死が避けられなくなった時のことを考えてください。

飲むことも食べることもできなくなれば、普通は数日の間に静かに息を引き取ります。しかし、点滴で栄養や水分を補給したり、人工呼吸器を装着して機械の力で呼吸をさせるなら、延命は可能になります。

医療側から栄養補給を含む延命治療を続けるかどうかを聞かれた家族は大変迷います。家族自身が無意味な延命治療は絶対嫌だと思っけていても、中止によりあなたの命を縮めることになる決断を下すのは、なかなかできないのが現状です。ですから、生前の意思表示は家族の迷いを救うことにもなるのです。

自分が元気で健康な時こそ、自分の死について考えてみてください。そして自分はどんな最期を望むのかを「生前の意思表示(リビング・ウィル)」*1として書き残しておくことが死への覚悟を持つということではないかと考えます。

わが国では法律によって決まっているわけではありませんが、「自己決定権の尊重」を表す1つの手段として、厚生労働省などから出ているガイドラインや指針にしたがい、医療従事者はリビング・ウィルを尊重してくれるようになりました。



注：*1 生前の意思表示(リビング・ウィル)
自分が受ける終末期医療についての要望と自分の最期について意思表示したものの。

私の終末期医療に対し希望すること

- | | | |
|------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1 心臓マッサージなどの心肺蘇生 | <input type="checkbox"/> して欲しい | <input type="checkbox"/> して欲しくない |
| 2 延命のための人工呼吸器 | <input type="checkbox"/> つけて欲しい | <input type="checkbox"/> つけて欲しくない |
| 3 人工透析の開始 | <input type="checkbox"/> 希望する | <input type="checkbox"/> 希望しない |
| 4 胃ろうによる栄養補給 | <input type="checkbox"/> して欲しい | <input type="checkbox"/> して欲しくない |
| 5 鼻チューブによる栄養補給 | <input type="checkbox"/> して欲しい | <input type="checkbox"/> して欲しくない |
| 6 点滴による水分の補給 | <input type="checkbox"/> して欲しい | <input type="checkbox"/> して欲しくない |
| 7 その他の希望 | | |

平成 年 月 日

本人署名捺印

住所

氏名

印

家族等署名捺印

住所

(本人との続柄)

氏名

印

書き方 使い方

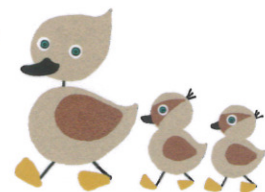
リビング・ウィルは、現在の意思表示であり、**その内容は常に変更・撤回できます。**
年月日を必ず明記しましょう。また、本人の署名捺印が必要です。
作成したリビング・ウィルは、家族に伝えておきましょう。

携帯カード

携帯カードは
必要事項を記入し、
常に持っていてください。

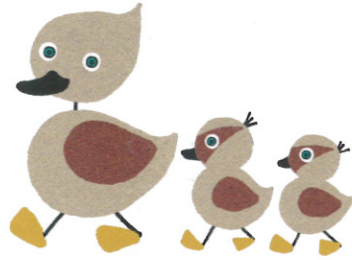
ハッピー・エンド計画

もしもとき笑顔でいられるために。



**終末期医療・ケアについての
生前の意思表示【リビング・ウィル】**

須高地域医療福祉推進協議会(須坂市・小布施町・高山村)



終末期になったときの医療の希望について

心臓マッサージなどの心肺蘇生

- 心肺蘇生とは、死が迫ったときに行われる、心臓マッサージ、気管挿管（口や鼻から気管に管を入れる）、気管切開（喉仏の下あたりから直接気管に管を入れる）、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為をいいます。
- 心臓マッサージをすると、心臓が一時的に動き出すことがあります。
- 気管挿管の場合、必ずしもすぐに人工呼吸器を装着するわけではなく、多くの場合、手動のバック（アンビューバック）を連結して医療スタッフが呼吸補助をします。この行為により、一時的に呼吸が戻る場合があります。

延命のための人工呼吸器の装着

- 気管に通した管に機械をとりつけ呼吸をさせます。装着してから亡くなるまでの期間は病気により異なります。

人工透析

- 腎臓が機能しなくなった時に、腎臓の機能の代行する装置を用い、血液の老廃物を人工的に取り除くことです。

胃ろうによる栄養補給

- 流動食をお腹から直接通したチューブで送り込むことです。
- 事前に内視鏡を使い、局所麻酔で胃ろうを作る手術を受ける必要があります。

鼻チューブによる栄養補給

- 鼻チューブでは手術は必要ありませんが、鼻や喉に違和感があります。定期的に交換をする必要があります。
- 胃ろうや鼻チューブでは、常に栄養補給ができます。しかし、終末期の状態では、栄養を十分に体内に取り入れることができないため、徐々に低栄養になります。また、栄養剤が食道から口の中に逆流して肺炎を合併することがあります。

点滴による水分補給

- すぐに、重度の脱水にならないようにできます。栄養はほとんどなく次第に低栄養が進行します。
- このほかに、太い静脈に点滴チューブを通し、より多くの栄養を持続的に入れる高カロリー輸液（IVH）という方法がありますが、点滴チューブを介した感染症を起こすことがあります。